

ラジオNIKKEI主催
個人投資家向け会社説明会(2015年11月14日)

開催日:2015年11月14日(土)
会場:アクセス梅田フォーラム(大阪府)

2015年11月14日に開催されたラジオNIKKEI主催の個人投資家向け会社説明会に参加いたしました。当日は約250名の個人投資家の皆様が来場されました。会社概要、第8次中期経営計画(JUMP1200)、業績、株価・株主様への利益還元について説明いたしました。内容につきましては、次ページ以降に掲載しておりますのでご覧ください。

A large, semi-circular graphic on the left side of the slide. It depicts a globe with a green grid pattern and a glowing yellow and white aura around its edge. The globe is tilted and shows some landmasses in a lighter green shade.

個人投資家向け会社説明会

2015年11月14日
サンワテクノス株式会社
URL : <http://www.sunwa.co.jp/>

本資料取扱い上の注意点

- この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展等により変動することがあります。
- 従いまして、実際の業績等が記載の予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

- 会社概要
- 第8次中期経営計画(JUMP1200)について
- 業績について
- 株価・株主様への利益還元について

- 会社概要
- 第8次中期経営計画(JUMP1200)について
- 業績について
- 株価・株主様への利益還元について

会社概要

社名	サンワテクノス 株式会社 (SUN-WA TECHNOS CORPORATION)
設立	1949年11月4日
資本金	25億5,300万円 (2015年9月末日現在)
従業員	単体 492名 連結 872名 (2015年9月末日現在)
事業内容	産業用エレクトロニクス、メカトロニクス関連の装置・機器・部品を取り扱う技術専門商社

社名の由来：サンはSUN(太陽)に通じ、社運の隆盛をイメージし、英文社名の「SUN-WA」は太陽に因んだものです。当社は創業以来「お取引先様・株主様・社員」の三者の和(バランス)を追求し、発展したいという考えと電機・電子・機械の3つの事業をバランスよく成長、発展させたいという想いも込められています。

会社概要 (沿革)

売上高(億)

1,200

1,000

800

600

400

200

0



山田工業(株) 創立時の事務所
(東京都千代田区神田須田町)

2005年3月
東証一部上場

1995年5月
シンガポールに
現地法人を設立
(海外1拠点目)

1993年4月
サンワテクノス(株)へ
社名変更

1982年5月
日本証券業協会に
株式を店頭登録

1949年11月
会社設立
(旧社名 山田工業(株))

2015年9月
フィリピン・メキシコに現地法人を設立 (海外24拠点)



フィリピン

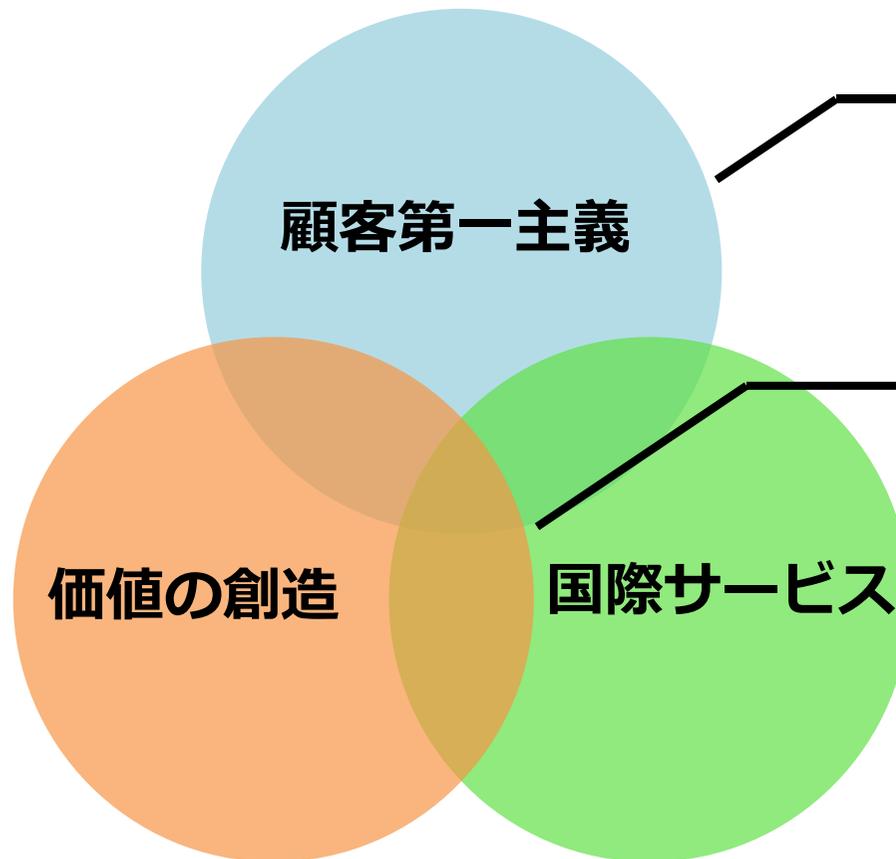


メキシコ

売上高
1,120億円
(予想)



社是： 人を創り 会社を興し 社会に尽くす



【顧客第一主義】

顧客第一主義に徹し、現場密着によって、真に求められている機能をとらえ、最適な商品・技術・ソリューションを迅速に提供します。

【価値の創造】

最前線のニーズと最先端の技術情報。これらを的確に捉え、独自の提案と技術力に基づく新たな価値を創造します。

【国際サービス】

グローバルネットワークを駆使し、お客様へ高付加価値のサービスを提供するとともに、優良商品の発掘、情報発信を行います。

会社概要（当社の強みと特徴）

電機・電子・機械の三部門を持つ独立系技術商社

電機部門

モーションコントロール、機械装置システムの高付加価値化を実現するメカトロ関連ビジネスを展開。

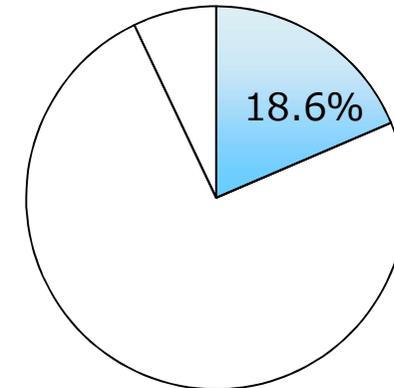


< ACサーボモータ、PLC >

■ 主要取扱い商品

ACサーボモータ、プログラマブルコントローラ（PLC）、リニアモータ他各種モータ、インバータ、マシンコントローラ、マシンビジョンシステム、半導体製造装置用クリーンロボット・真空ロボット、パワーコンディショナ、受変電設備及び工事等

■ 売上高構成比率 （当第2四半期累計期間）



■ 主要顧客

パナソニックグループ
SCREENグループ
ニコングループ
(株)島精機製作所
ブリヂストングループ
キヤノングループ
富士フイルムグループ
三菱電機グループ

会社概要（当社の強みと特徴）

電機・電子・機械の三部門を持つ独立系技術商社

電子部門

デザイン・インから製品の量産化まで、きめ細かく対応する電子部品関連ビジネスを展開。

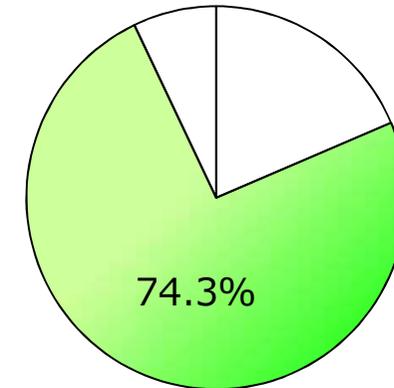


<LED、リレー>

■ 主要取扱い商品

電源、コネクタ、半導体、センサ、小型ファン、LED（発光ダイオード）、LCD（液晶ディスプレイ）、産業用パソコン、CPUボード、メモリモジュール、リレー等

■ 売上高構成比率 （当第2四半期累計期間）



■ 主要顧客

安川電機グループ
デンソーグループ
三菱電機グループ
富士電機グループ
パナソニックグループ
オムロングループ
ダイヘングループ
ヤマハ発動機グループ
(株)京三製作所

会社概要（当社の強みと特徴）

電機・電子・機械の三部門を持つ独立系技術商社

機械部門

クリーンロボットや物流搬送システム、各種検査装置などの生産設備関連ビジネスを展開。

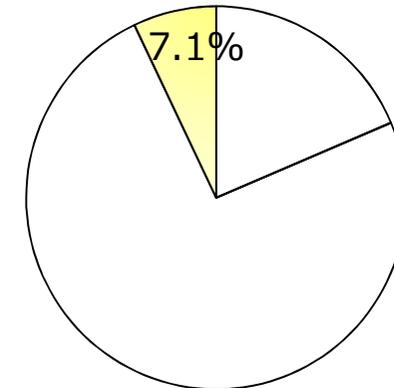


<物流搬送装置、産業用ロボット>

■ 主要取扱い商品

半導体関連製造設備、産業用ロボット、液晶・パネル搬送用クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、バルブコントロール装置、風水力機器、空調・厨房設備、環境保護機器及び装置、各種検査装置、医療機器等

■ 売上高構成比率 (当第2四半期累計期間)



■ 主要顧客

旭硝子グループ
デンソーグループ
キャノングループ
ブリヂストングループ
富士フイルムグループ
SCREENグループ

会社概要（当社の強みと特徴）

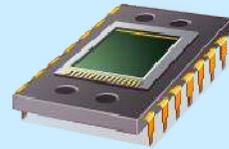
事例① こんなところでお役に立っています（イメージ）



スマートフォン



パソコン



半導体

製造



半導体製造装置

納入・設置・メンテナンス



半導体製造工場

納入

サンワテクノスグループ
及び取引先

設備機械メーカー



産業用ロボット、物流搬送装置等

電子部品メーカー



コネクタ等

納入

電気機器メーカー



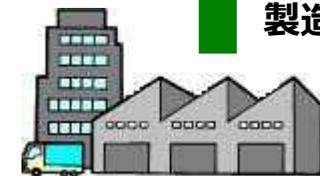
A Cサーボモータ等

納入

半導体製造装置



製造



「半導体製造装置」製造工場

納入・設置・メンテナンス

会社概要（当社の強みと特徴）

事例② こんなところでお役に立っています（イメージ）

サーボモータ



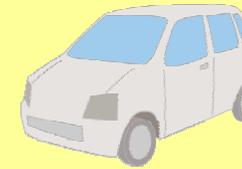
自動編み機



コネクタ、ソケット、カメラ等



ETC
カーナビ
衝突回避支援システム



オフィス・街灯など



自動販売機等



LED照明



POSシステム



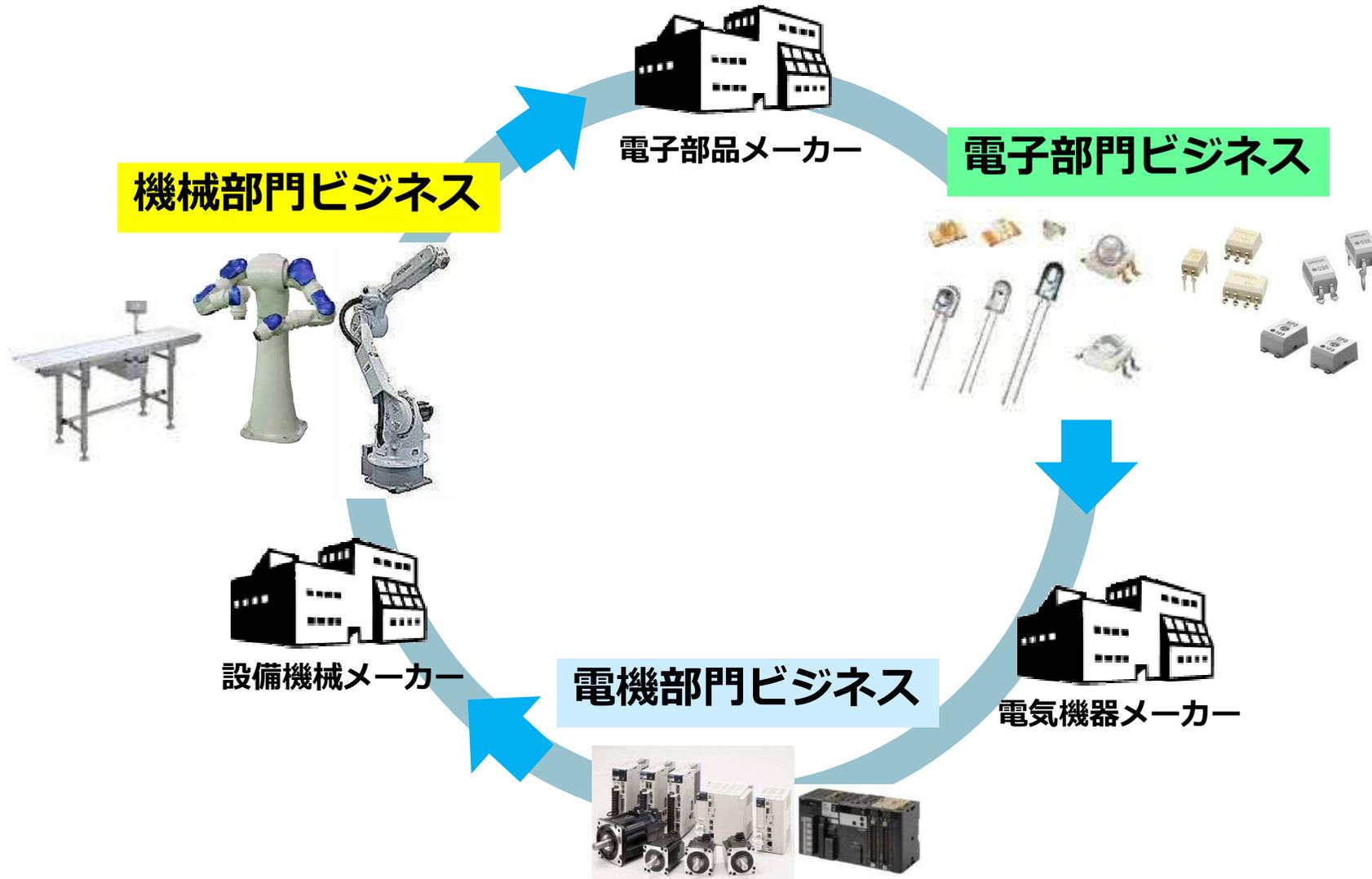
産業用パソコン



会社概要（当社の強みと特徴）

電機・電子・機械の三部門を持つ独立系技術商社

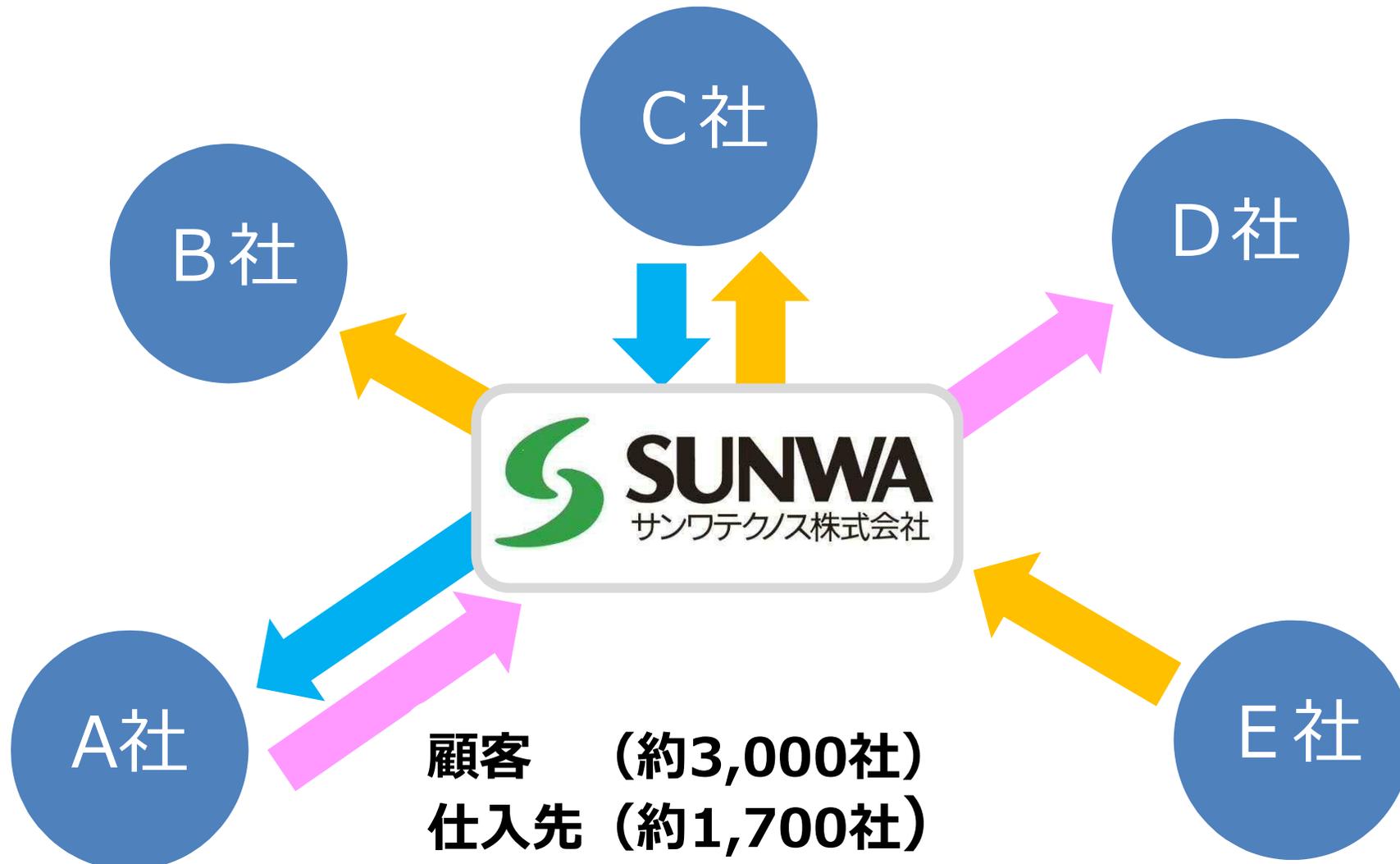
産業界の最新動向を仕入先メーカーにいち早く情報提供



会社概要（当社の強みと特徴）

双方向取引による密接な信頼関係と強い協力関係

顧客であると同時に仕入先でもある大手企業と多数取引しています。

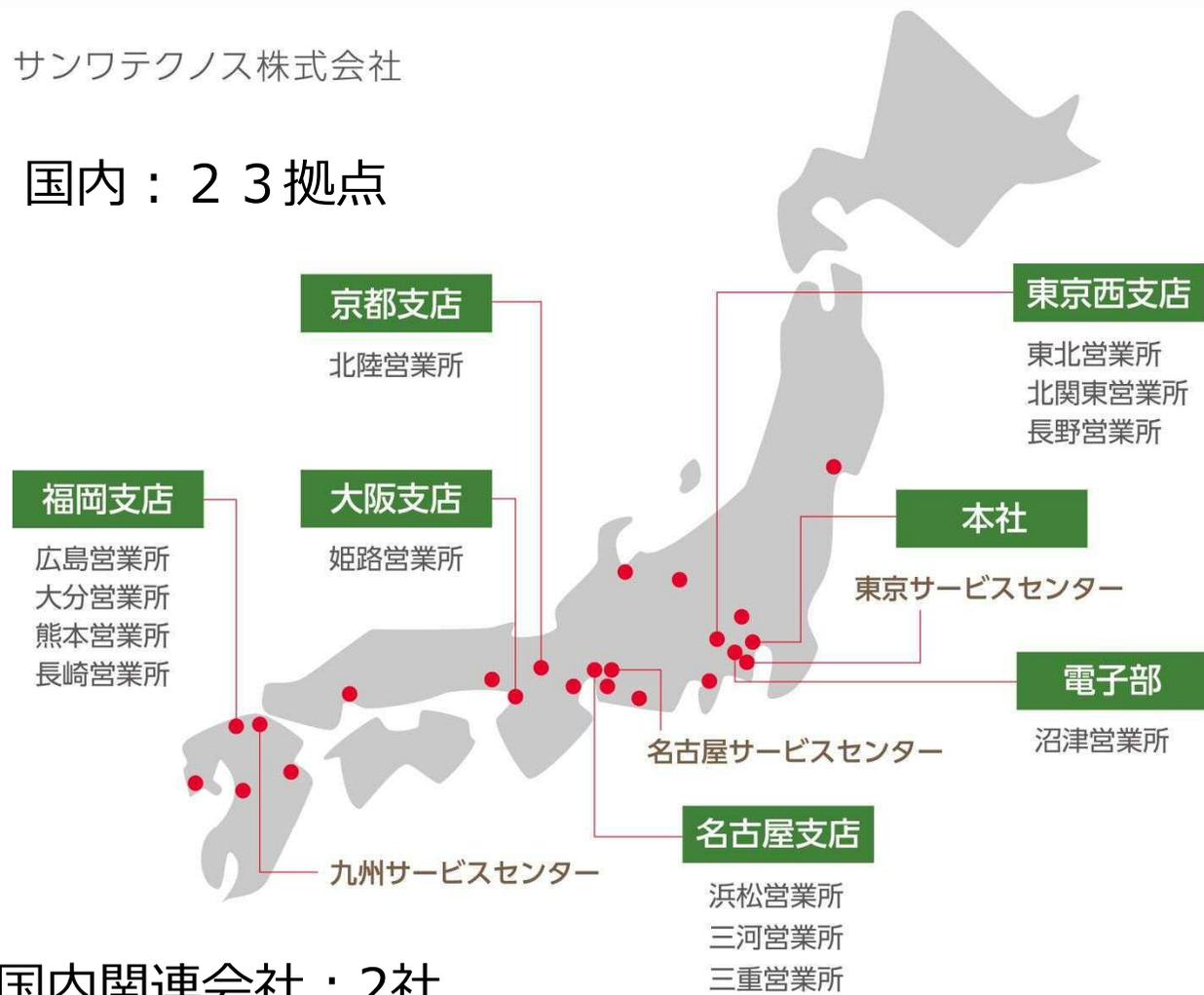


会社概要 (サンワグローバルネットワーク)

国内

サンワテクノス株式会社

国内：23拠点



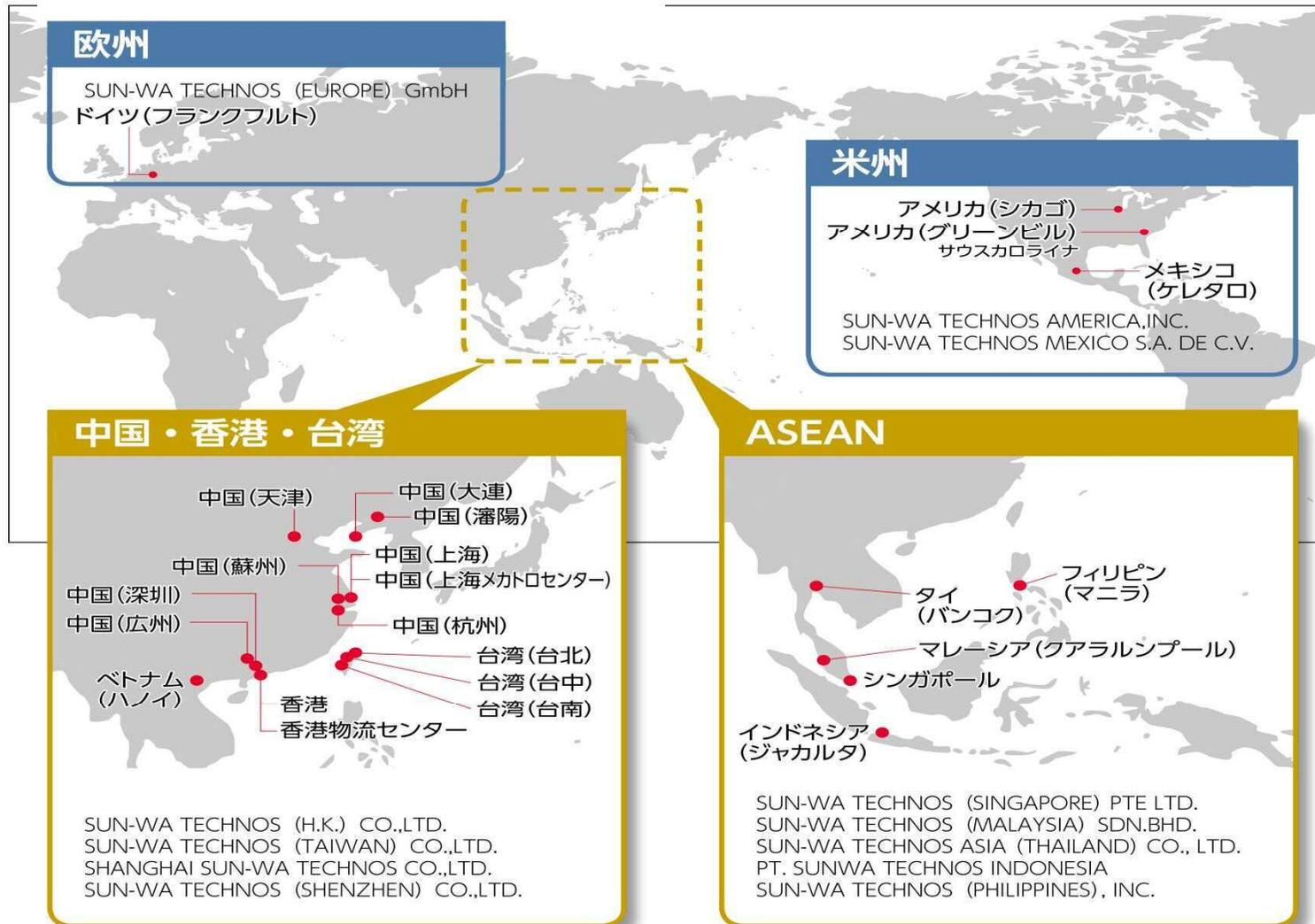
国内関連会社：2社

サンワトリニティ (空調設備などの設計、施工、販売)

サンワロジスティック (物流)

会社概要 (サンワグローバルネットワーク)

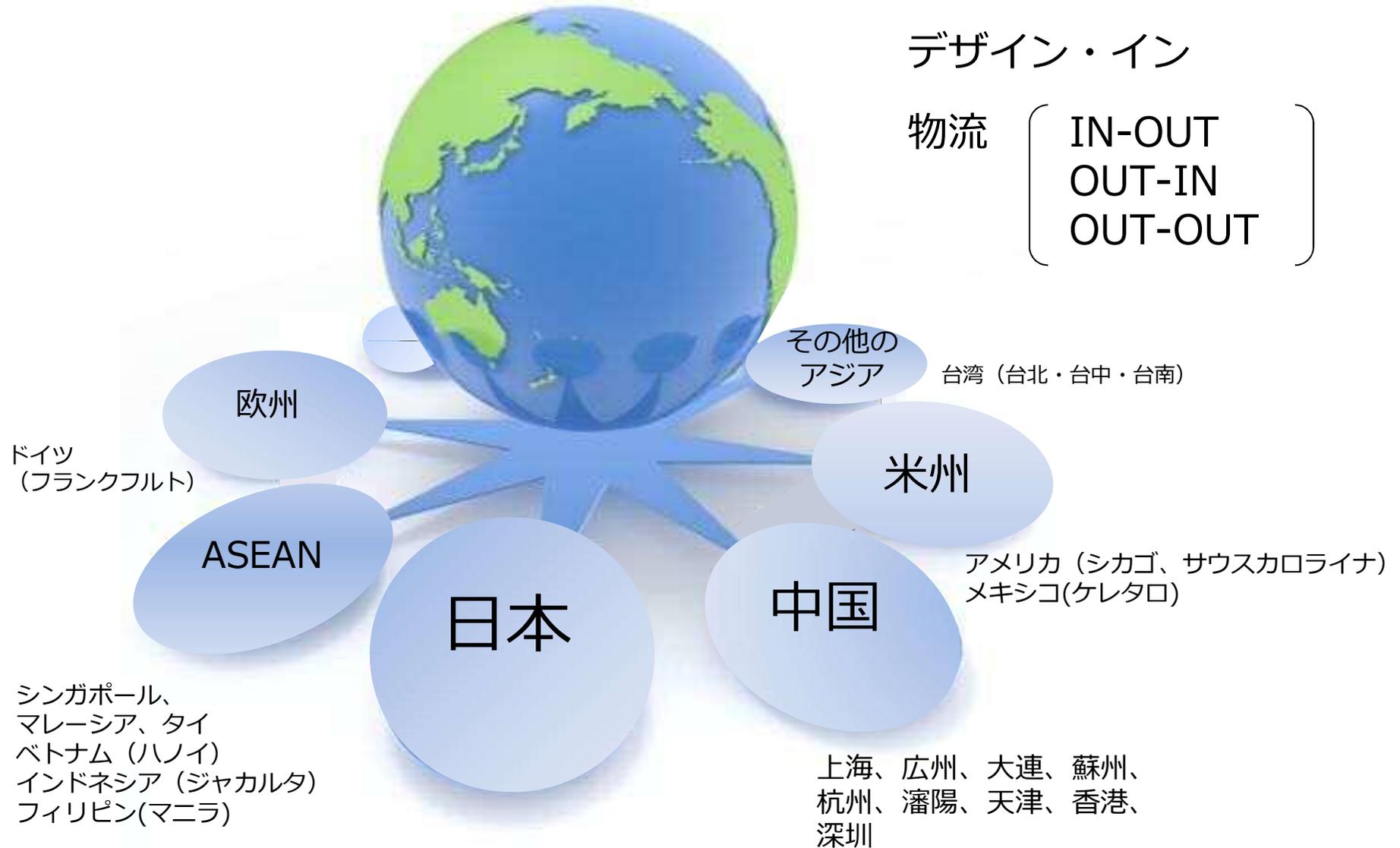
海外：12社 (24拠点)



- ・ フィリピン及びメキシコに現地法人を開設。(2015年9月28日)
- ・ ロサンゼルス事務所開設について現在準備中。

会社概要（サンワグローバルネットワーク）

デザイン・インから量産まで サンワ・グローバルネットワークで一貫サポートします。



- 会社概要
- 第8次中期経営計画(JUMP1200)について
- 業績について
- 株価・株主様への利益還元について

方針

グローバル展開による事業の更なる拡大

独自の提案と技術力による企業価値の向上

市場動向を先取りし、迅速な対応で顧客満足を追求

筋肉質の企業体質を進め、収益力向上

CSR経営を進める

重点施策

電機・電子・機械の複合ビジネスとエンジニアリング力を
最大限発揮できる組織の構築

新興国を始め、海外事業を更に拡大する

成長市場の開拓を積極的に進め、新規事業の確立を目指す

グローバルロジスティック機能の拡充強化

サンワテクノスグループの管理体制整備

社是を基本とした人材教育体系を確立

第8次中期経営計画(JUMP1200)について

JUMP1200～サンワテクノスグループとして大きく飛躍し、連結売上高1,200億円を目指す～

世界で活躍する真のグローバルカンパニーを目指し、常に成長し続ける強い技術商社としてのサービスを提供する

サンワグループ

電機部門

複合ビジネス

電子部門

機械部門

エンジニアリング力

2016年3月期 (目標)

連結売上高 1,200億円

連結経常利益 47億円

売上高経常利益率 3.5%以上を継続的に確保

2013年3月期

連結売上高 882億円

連結経常利益 25億円

第8次中期経営計画(JUMP1200)について

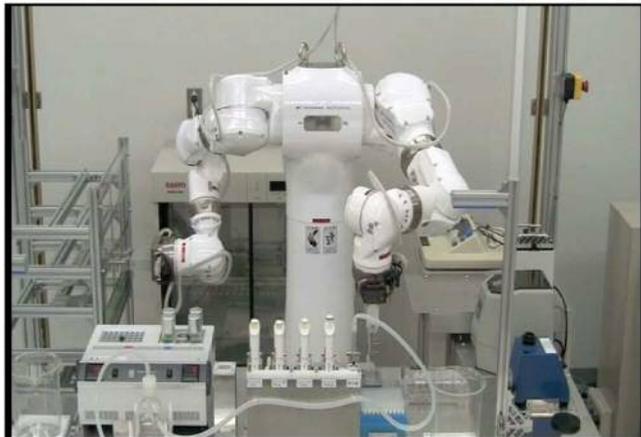
JUMP1200 重点施策「成長市場の開拓を積極的に進め、新規事業の確立を目指す」

【ロボット】

ベンチワーク自動化ロボット（分析前処理ロボットシステム）

独立行政法人 産業技術総合研究所、安川電機、当社で事業推進

作業中のベンチワーク自動化ロボット



<特徴>

- ・ 人間と同レベル、あるいはそれ以上の精度とスピード
- ・ コンパクトなワーキングスペース（人間と同じ）
- ・ 汎用性が高く、様々な作業が可能
- ・ 過酷な環境でも動作可能（真空、高温、低温など）
- ・ 危険な作業（ウイルスなどの取り扱い）の無人化が可能

製薬会社、バイオベンチャー、検査会社、病院などからの需要が期待できる。

第8次中期経営計画(JUMP1200)について

JUMP1200 重点施策「成長市場の開拓を積極的に進め、新規事業の確立を目指す」

【介護・医療機器】

- ・放射線治療装置
- ・歯科用レントゲン
- ・歯科用CTスキャン
- ・電動介護ベッド
- ・肺機能低下患者向け酸素濃縮装置
- ・人工透析機 など



放射線治療装置

写真提供：三菱重工業(株)殿



電動介護ベッド

写真提供：パラマウントベッド(株)殿



歯科用レントゲン

写真提供：朝日レントゲン工業(株)殿

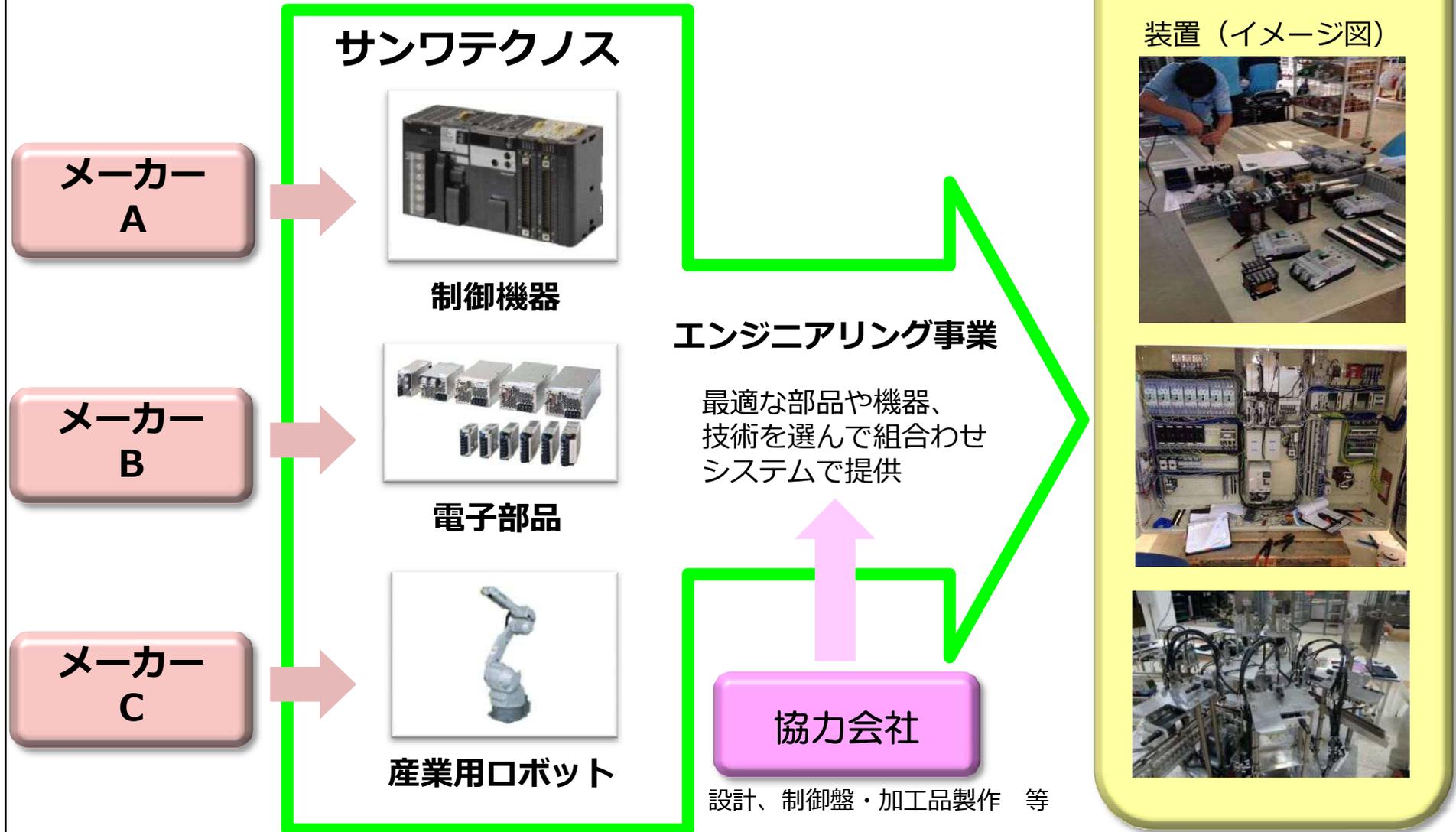
納入品：サーボモータ、電源、ノイズフィルタ、コンデンサ、ハーネス 等

第8次中期経営計画(JUMP1200)について

JUMP1200 重点施策「電機・電子・機械の複合ビジネスとエンジニアリング力を最大限発揮できる組織の構築」

【事例】 エンジニアリング事業 (イメージ図)

人件費の高騰が進むA S E A N地域を中心に展開



- 会社概要
- 第8次中期経営計画(JUMP1200)について
- 業績について
- 株価・株主様への利益還元について

業績について

2016年3月期 第2四半期 連結業績

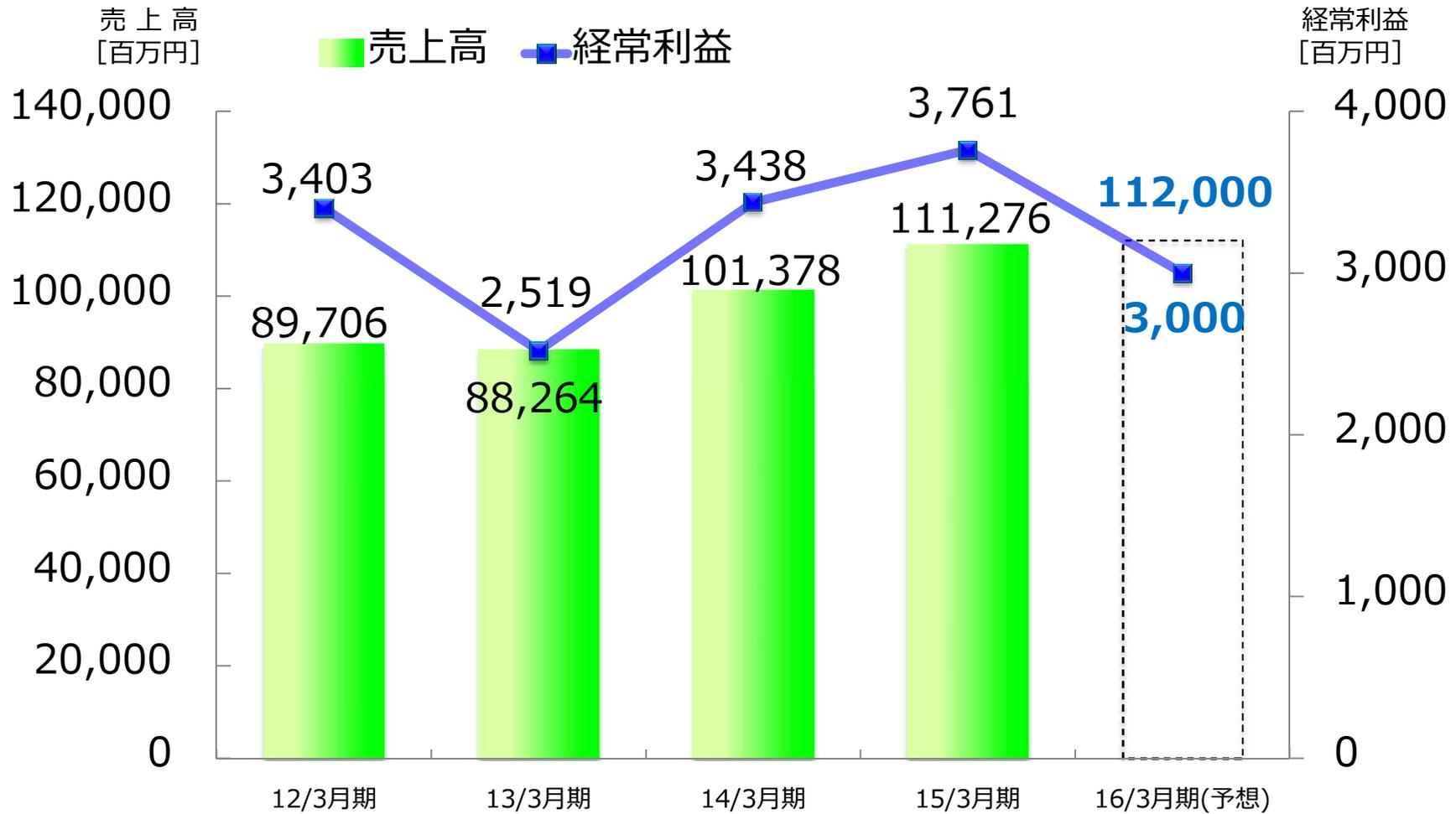
- ・ 前年同期比で増収・減益
- ・ 第2四半期累計期間で過去最高の売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	増減額	前年同四半期 増減率
売上高	50,784	54,457	3,673	7.2%
営業利益	1,552	1,417	▲135	▲8.7%
経常利益	1,710	1,545	▲165	▲9.7%
四半期純利益 (※)	1,108	1,033	▲75	▲6.8%
1株当たり 四半期純利益	77.23円	71.97円	▲5.26円	▲6.8%

(※)親会社株主に帰属する四半期純利益

売上高及び経常利益推移 (連結)



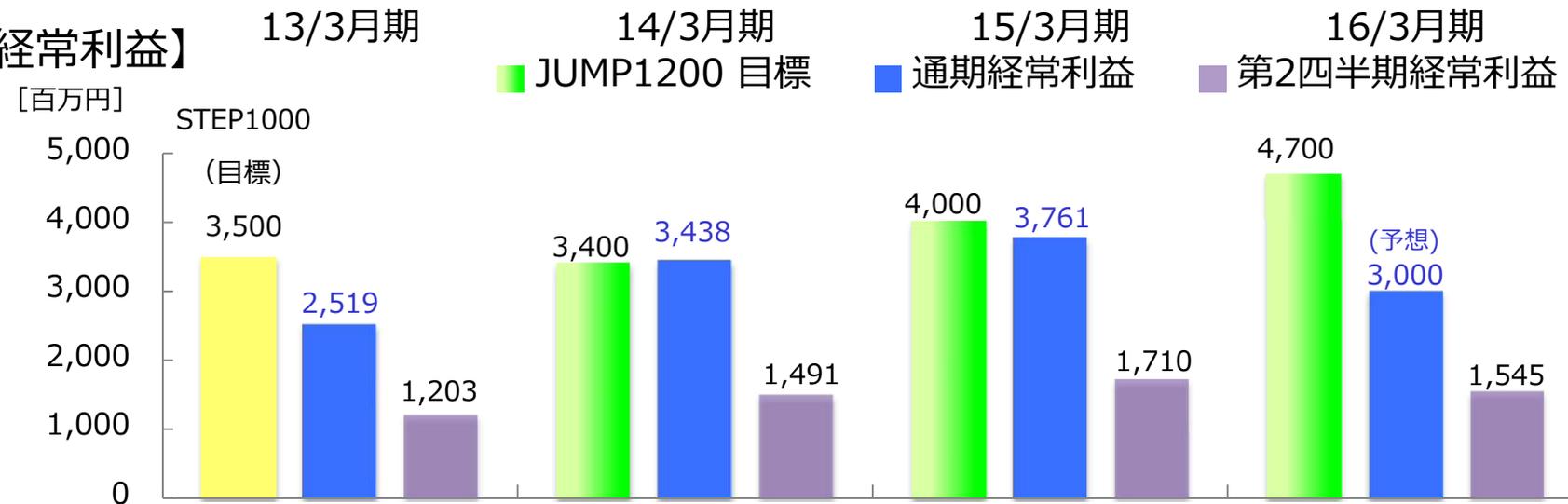
【第8次中期経営計画(JUMP1200)】

売上高及び経常利益推移 (連結)

【売上高】



【経常利益】



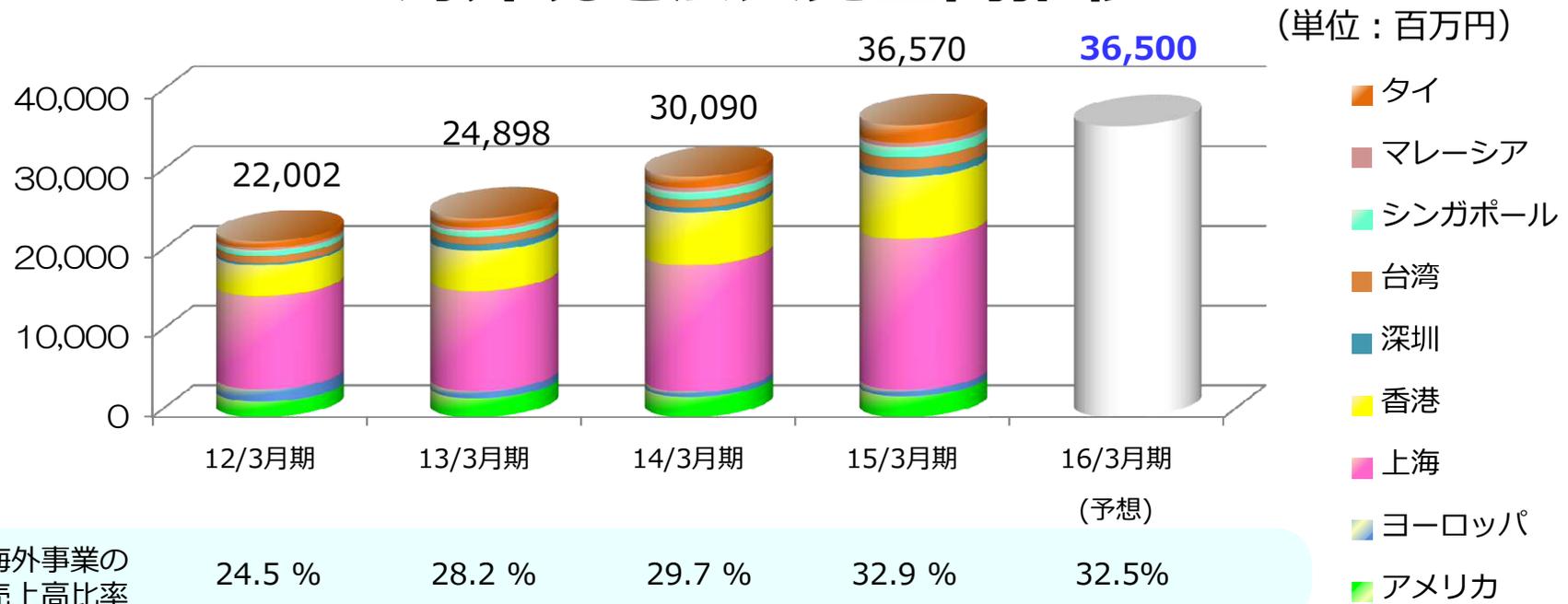
13/3月期

14/3月期

15/3月期

16/3月期

海外現地法人売上高推移

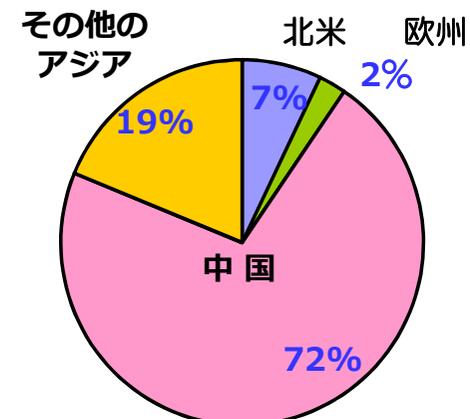
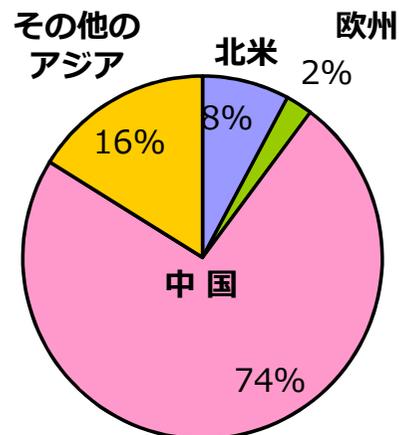


海外売上高構成

2015年3月期 第2四半期

2016年3月期 第2四半期

- 北米 … アメリカ、メキシコ
- 欧州 … ヨーロッパ
- 中国 … 上海、香港、深圳
- その他のアジア … シンガポール、台湾、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン



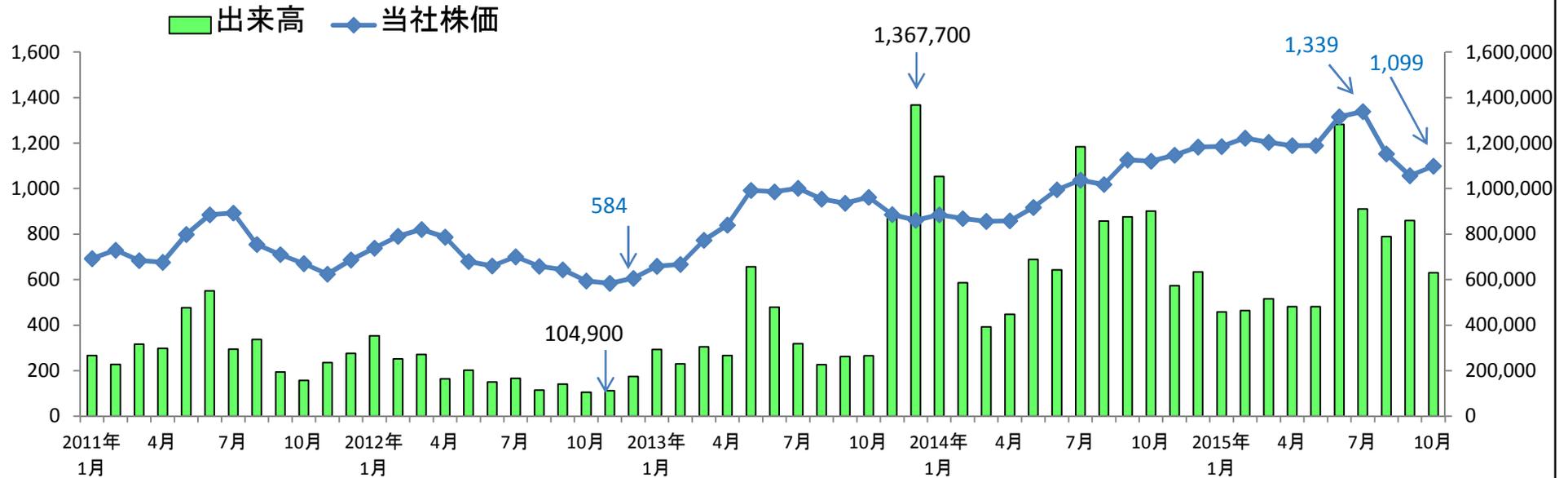
- 会社概要
- 第8次中期経営計画(JUMP1200)について
- 業績について
- 株価・株主様への利益還元について

株価・株主様への利益還元について

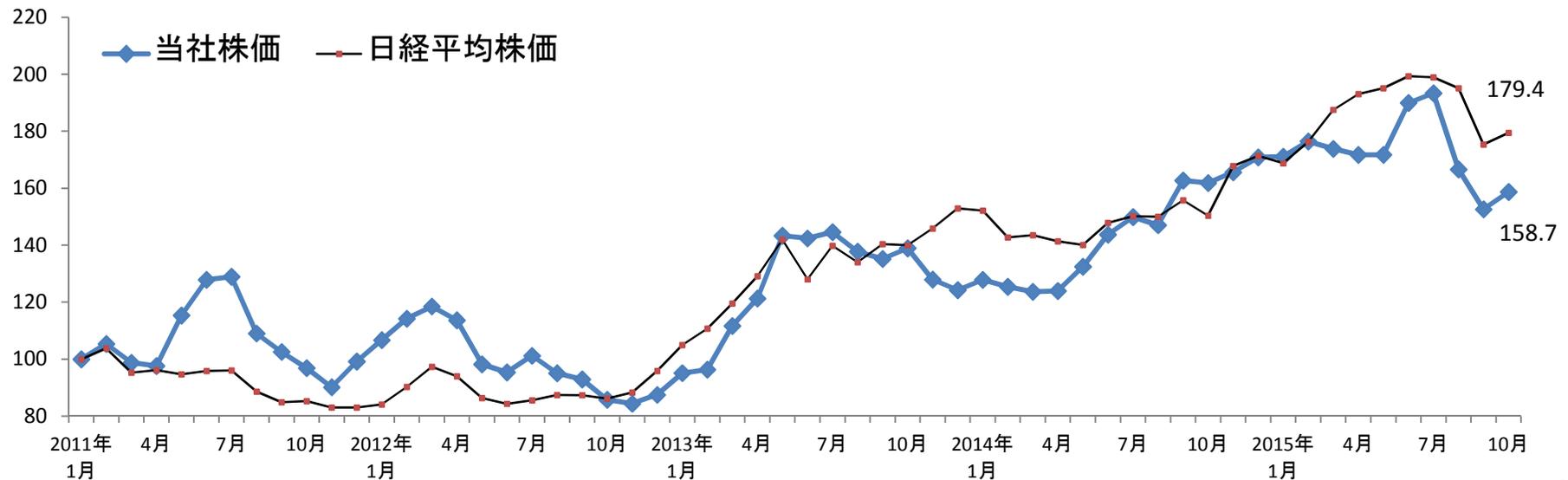
(単位:円) 当社株価推移表

※当社株価、日経平均株価は一ヶ月間の平均株価

(出来高)



日経平均株価推移との比較(2011年1月時点の株価を基準(100)とした比較)



株価・株主様への利益還元について

配当金の推移（連結）

期	1株当たり 当期純利益	配当性向	中間	期末	年間
10年3月期	▲31.97円	—	10円	10円	20円
11年3月期	132.33円	15.1%	10円	10円	20円
12年3月期	154.22円	13.0%	10円	10円	20円
13年3月期	118.71円	16.8%	10円	10円	20円
14年3月期	162.98円	13.5%	10円	12円	22円
15年3月期	171.83円	15.1%	12円	14円	26円
16年3月期 (予想)	139.31円	20.1%	14円	14円 (予想)	28円 (予想)

当社は、株主の皆様に対して安定した配当を継続するとともに、業績の進展状況により増配や株式分割などを実施して行くことを基本方針としています。

以上のように、高い成長性・収益性・安定性を求めて
経営に努力してまいりますので、
今後とも一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。
ご清聴、ありがとうございました。